

椋山女学園の財政 (平成28年度決算及び平成29年度予算について)

平成29年度予算は平成29年3月17日、平成28年度決算は平成29年5月19日開催の理事会でそれぞれ承認されましたので、その概要を報告いたします。

I 平成28年度決算について

1 平成28年度決算概況

平成27年度から学校法人会計基準の一部を改正する省令(平成25年4月22日文部科学省令第15号)に基づき計算書類の様式を変更し、改正後の様式に基づき、区分及び科目を組み替えて表示しています。

平成28年度決算については、図表1~3をご覧ください。平成28年度は、名古屋市名東区の土地及び建物の取得、和風館の天井耐震工事及びLED化、大学会館3階大会議室改修工事、その他各種改修・更新工事による結果が決算の各種指標に表れています。(金額は、千円未満を四捨五入したことにより集計額に誤差が生じています。)

2 事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書は、当該会計年度の活動に対する事業活動収入(旧:帰属収入)及び事業活動支出(旧:消費支出)の内容を経常的及び臨時的収支に区分してそれぞれの収支状況が把握できるようにする計算書です。継続的に保持する資産としての基本金を組入れた後の収支の均衡の状態を明らかにして、学校法人の持続的な維持に資する指標です。

平成28年度と平成27年度との比較表は、図表1のとおりです。

教育活動収支では、教育活動収入計が、103億59百万円で前年度と比較し46百万円増加しました。前年度の創立110周年による寄付金に比して寄付金が減少しましたが、在学生の増加による学生生徒等納付金や補助金の増額及びアフタースクール加入者増等による付随事業収入の増加があり、収入全体で微増しました。教育活動支出計は2億32百万円減少しました。前年度に比して退職者の減少による人件費の減少が主な要因です。こ

れにより教育活動収支差額は9億2百万円で前年度と比較して2億79百万円増加しました。

教育活動外収支では、受取利息・配当金による収入と借入金等利息による支出との収支により教育活動外収支差額は1億5百万円と前年度と比較して22百万円減少しました。

これにより、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は、10億8百万円の収入超過となり経常的な収支バランスは健全であるといえます。

特別収支では、特別収支差額が1百万円の増加の△8百万円と純資産に大きな影響は無かったことを表しています。

以上により、基本金組入前当年度収支差額(旧:帰属収支差額)は前年度に比して2億58百万円増加の9億99百万円の収入超過となりました。また、土地・建物の取得等により基本金組入が前年度から増加しましたので、当年度収支差額は10億13百万円のマイナスとなっております。

3 資金収支計算書について

資金収支計算書とは、事業活動収支項目に積立金や借入金等の外部資金を加えて、当該会計年度の諸活動に対応する全ての資金の収入・支出を明らかにし、支払資金の収入・支出の顛末を明らかにする指標です。

平成28年度と平成27年度との比較表は、図表2のとおりです。

資金収支上の科目として、収入の部では、借入金等収入、前受金収入及びその他の収入があり、支出の部では、借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出、資産運用支出及びその他の支出があります。前受金収入は、次年度の収入になるものを今年度に計上するもので、次年度入学生の

入学金等が該当します。その他の収入は、施設・設備等の多額の支払資金に充てるために積み立てた特定資産からの取崩収入、前年度の退職金財団収入等の未収入金収入等です。施設関係支出は、土地、建物等不動産取得に要した資金が計上されています。設備関係支出は、備品、図書、ソフトウェア等不動産以外の学園の資産となる資産取得に要した資金が計上されています。資産運用支出は、特定資産に充てる資金が計上されています。平成28年度は、施設関係支出で18億5百万円、設備関係支出で2億86百万円を支出しています。

その結果、翌年度繰越支払資金は52億200万と前年度と比べて12億5百万円減少しています。

4 貸借対照表について

貸借対照表は、会計年度末時点での資産・負債・基本金等の学園の財産状況を表す指標です。

平成28年度末時点での貸借対照表の概要は、図表3のとおりです。

資産総額は、433億52百万円で前年度末に比べて8億51百万円増加しています。固定資産は、名古屋市名東区の土地及び建物の取得、和風館の天井耐震工事及びLED化、大学会館3階大会議室改修工事、その他各種改修・更新工事で資産を増加させましたが、建物は減価償却により資産が減少し、結果、有形固定資産では9億11百万円の増加、特定資産は第3号基本金引当特定資産の組入れなどにより12億30百万円の増加となりました。流動資産は、現金預金の減少などにより12億77百万円の減少となっております。

負債の部は、長期借入金や未払金等の減少で1億48百万円の減少となり、純資産の部は9億99百万円増加の386億92百万円となりました。

図表1 平成28年度事業活動収支計算書(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

単位:千円					単位:千円							
科目	部門	28年度決算	構成比率%	27年度決算	差異	科目	部門	28年度決算	構成比率%	27年度決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	8,196,158	78.3	8,113,797	82,361	特別収支	資産売却差額	4,473		600	3,873
		手数料	173,829	1.7	159,630	14,199		事業活動特別収入計	98,142		74,865	23,277
		寄付金	32,210	0.3	98,142	△65,932		事業活動特別支出計	102,615		75,465	27,150
		経常費等補助金	1,486,302	14.2	1,478,399	7,903		資産処分差額	110,874		84,937	25,937
		付随事業収入	201,406	1.9	183,866	17,540		その他の特別支出	0		0	0
		雑収入	269,686	2.6	279,027	△9,341		特別支出計	110,874		84,937	25,937
		教育活動収入計	10,359,591	99.0	10,312,862	46,729		特別収支差額	△8,259		△9,473	1,214
		人件費	6,172,558	59.0	6,330,727	△158,169		予備費(消費)	0		0	0
		教育研究経費	2,580,969	24.7	2,663,705	△82,736		基本金組入前当年度収支差額	999,824		741,803	258,021
		(内)減価償却額	1,011,442	9.7	1,081,408	△69,966		基本金組入額合計	△2,013,018		△614,055	△1,398,963
		管理経費	702,073	6.7	693,662	8,411		当年度収支差額	△1,013,194		127,748	△1,140,942
		(内)減価償却額	74,510	0.7	80,234	△5,724		前年度繰越収支差額	△7,548,352		△7,676,101	127,749
		徴収不能額等	1,726	0.0	1,887	△161		基本金取崩額	59,624		0	59,624
		教育活動支出計	9,457,326	90.3	9,689,981	△232,655		翌年度繰越収支差額	△8,501,923		△7,548,352	△953,571
教育活動収支差額	902,265	8.6	622,880	279,385	(参考)							
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	108,164	1.0	131,752	△23,588	事業活動収入計	10,570,370		10,520,078	50,292	
		その他の教育活動外収入	0	0.0	0	0	事業活動支出計	9,570,546		9,778,275	△207,729	
		教育活動外収入計	108,164	1.0	131,752	△23,588						
		借入金等利息	2,346	0.0	3,357	△1,011						
		その他の教育活動外支出	0	0.0	0	0						
		教育活動外支出計	2,346	0.0	3,357	△1,011						
教育活動外収支差額	105,818	1.0	128,395	△22,577								
経常収支差額	1,008,083	9.6	751,276	256,807								

注)構成比(%)は経常収入(教育活動収入計+教育外活動収入計)又は経常支出(教育活動支出計+教育外活動支出計)を100とした比率です。

図表2 平成28年度資金収支計算書(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

単位:千円

単位:千円

科目	28年度決算	27年度決算	差異	科目	28年度決算	27年度決算	差異
学生生徒等納付金収入	8,196,158	8,113,797	82,361	人件費支出	6,146,023	6,331,898	△185,875
手数料収入	173,829	159,630	14,199	教育研究経費支出	1,569,019	1,578,986	△9,967
寄付金収入	51,693	113,388	△61,695	管理経費支出	628,271	614,161	14,110
補助金収入	1,560,003	1,525,693	34,310	借入金等利息支出	2,346	3,357	△1,011
資産売却収入	1,103,834	1,050,600	53,234	借入金等返済支出	84,222	100,133	△15,911
付随事業・収益事業収入	202,359	185,051	17,308	施設関係支出	1,805,372	314,737	1,490,635
受取利息・配当金収入	108,164	131,752	△23,588	設備関係支出	286,563	237,958	48,605
雑収入	258,575	330,152	△71,577	資産運用支出	4,136,560	2,446,219	1,690,341
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	597,119	301,549	295,570
前受金収入	541,843	509,989	31,854				
その他の収入	2,202,570	1,332,912	869,658				
資金収入調整勘定	△820,792	△843,474	22,682	資金支出調整勘定	△472,258	△573,153	100,895
当年度資金収入合計	13,578,236	12,609,489	968,747	当年度資金支出合計	14,783,237	11,355,845	3,427,392
前年度繰越支払資金	6,425,957	5,172,313	1,253,644	翌年度繰越支払資金	5,220,955	6,425,957	△1,205,002
収入の部合計	20,004,193	17,781,802	2,222,391	支出の部合計	20,004,193	17,781,802	2,222,391

図表3 平成28年度貸借対照表(平成29年3月31日現在)

単位:千円

単位:千円

科目	28年度末	27年度末	差異	科目	28年度末	27年度末	差異
資産の部				負債の部			
固定資産	37,764,701	35,635,349	2,129,352	固定負債	3,448,143	3,501,445	△53,302
有形固定資産	26,864,449	25,952,990	911,459	長期借入金	53,233	121,958	△68,725
土地	6,202,594	4,886,849	1,315,745	退職給与引当金	3,394,910	3,379,486	15,424
建物	16,026,361	16,197,540	△171,179	流動負債	1,211,612	1,306,391	△94,779
構築物	854,913	868,242	△13,329	短期借入金	68,726	84,222	△15,496
教育研究用機器備品	1,564,504	1,655,567	△91,063	未払金	456,270	557,677	△101,407
管理用機器備品	150,245	131,508	18,737	前受金	541,843	509,989	31,854
図書	2,065,831	2,053,283	12,548	預り金	144,773	154,503	△9,730
建設仮勘定	0	160,000	△160,000	負債の部合計	4,659,755	4,807,836	△148,081
特定資産	7,342,330	6,111,439	1,230,891	純資産の部			
第3号基本金引当特定資産	2,213,000	2,013,000	200,000	基本金	47,194,170	45,240,776	1,953,394
退職給与引当特定資産	2,005,500	2,004,400	1,100	第1号基本金	44,336,170	42,582,776	1,753,394
減価償却引当特定資産	1,100,000	1,100,000	0	第2号基本金	0	0	0
各種課程履修費特定資産	60,660	61,141	△481	第3号基本金	2,213,000	2,013,000	200,000
施設整備・教育研究充実特定資産	52,943	42,214	10,729	第4号基本金	645,000	645,000	0
キャンパス整備準備特定資産	1,800,000	800,000	1,000,000				
教育振興基金特定資産	28,187	18,053	10,134	繰越収支差額			
特別寄付金特定資産	8,676	5,147	3,529	翌年度繰越収支差額	△8,501,923	△7,548,352	△953,571
施設設備充実資金果実特定資産	1,943	1,281	662				
学園同窓会奨学資金果実特定資産	1,500	0	1,500	純資産の部合計	38,692,247	37,692,423	999,824
大学同窓会奨学資金果実特定資産	830	2,030	△1,200	負債及び純資産の部合計	43,352,002	42,500,259	851,743
看護学部奨学資金果実特定資産	50,624	49,071	1,553				
学園研究資金果実特定資産	1,102	1,102	0				
学園教育資金果実特定資産	13,262	11,603	1,659				
その他の特定資産	4,102	2,396	1,706				
その他の固定資産	3,557,923	3,570,920	△12,997				
借地権	477	477	0				
ソフトウェア	53,586	64,729	△11,143				
電話加入権	3,204	3,204	0				
有価証券	3,111,723	3,111,924	△201				
長期貸付金	11,680	0	11,680				
保証金	377,252	390,585	△13,333				
流動資産	5,587,301	6,864,910	△1,277,609				
現金預金	5,220,955	6,425,957	△1,205,002				
未収入金	349,462	406,217	△56,755				
販売用商品	461	622	△161				
貸付金	0	15,873	△15,873				
仮払金	1	0	1				
前払金	16,423	16,240	183				
資産の部合計	43,352,002	42,500,259	851,743				

II 事業活動収支計算書の年度別財務比率比較について

図表4は、過去5年間に於いて大学を持つ他の法人と本学園との財務比率の比較を行ったものです。(学校法人会計基準の改正で新たに設けられた勘定科目を含む前年度以前の比率は、本学園以外のデータは不明のため記載していません。)

財務比率の中で、特に重要な学生生徒等納付金比率、人件費比率、教育研究経費比率、人件費依存率、経常収支差額比率、教育活動収

支差額比率についてグラフ化したものを図表5に示しています。

学生生徒等納付金比率は、78.3%と前年度から0.6%増加しています。これは寄付金比率が0.7%減少したことが要因ですが、依然として高い比率になっており、経常収入が学生生徒等納付金に負っていることがわかります。人件費比率は、59.0%となっており、定年退職者の増減による変動要因がありますが、かなりの高率

といえます。このため、教育研究費比率などの他の指標に大きな影響を与えており、人件費比率を下げるのが今後の重要な課題といえます。教育研究経費比率は24.7%で前年度から0.8%比率を下げています。

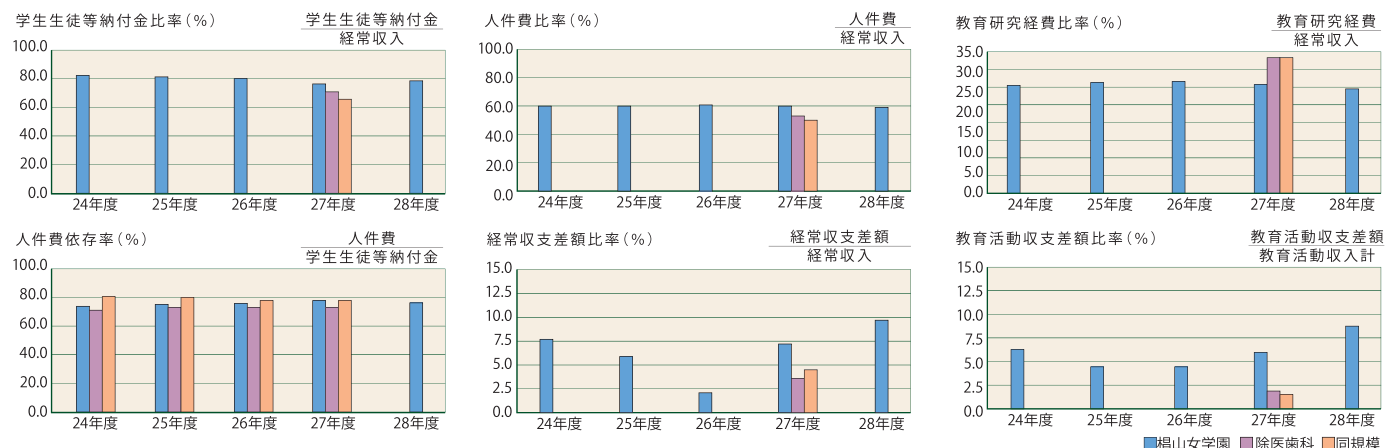
経常収支差額比率は、9.6%と前年度から2.4%増加し、教育活動収支差額比率は、8.7%となっています。

図表4 事業活動収支計算書の年度別財務比率比較

比率名称		算出式(%)	評価	法人種別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収入構成	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	—	椋山女学園	81.6	80.7	80.0	77.7	78.3
				除医歯系				73.7	
				同規模				66.2	
収入構成	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	△	椋山女学園	0.7	0.5	0.6	1.2	0.5
				除医歯系	2.0	2.2	3.9	2.3	
				同規模	1.5	1.6	1.4	2.0	
収入構成	補助金比率	補助金 事業活動収入	△	椋山女学園	12.5	13.0	14.2	14.5	14.8
				除医歯系	12.6	12.8	12.2	12.5	
				同規模	11.1	11.1	11.5	11.0	
支出構成	人件費比率	人件費 経常収入	▼	椋山女学園	60.5	60.6	60.7	60.6	59.0
				除医歯系				53.7	
				同規模				51.7	
				椋山女学園	25.4	26.3	26.6	25.5	24.7
				除医歯系				33.2	
				同規模				33.7	
				椋山女学園	6.5	7.2	7.0	6.6	6.7
除医歯系				9.3					
同規模				9.6					
支出構成	減価償却額比率	減価償却額(教育+管理) 経常支出	—	椋山女学園	11.8	12.3	12.6	12.0	11.5
				除医歯系				11.8	
				同規模				11.4	
支出構成	借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	▼	椋山女学園	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
				除医歯系				0.2	
				同規模				0.3	
支出構成	基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	△	椋山女学園	16.0	3.1	3.6	5.8	19.0
				除医歯系	11.7	12.1	13.6	12.2	
				同規模	11.0	14.0	12.5	13.8	
収支バランス	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	▼	椋山女学園	74.1	75.0	75.9	78.0	75.3
				除医歯系	70.9	72.4	73.3	73.0	
				同規模	80.7	79.5	78.6	78.2	
収支バランス	経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	△	椋山女学園	7.7	5.9	2.1	7.2	9.6
				除医歯系				3.4	
				同規模				4.6	
収支バランス	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	△	椋山女学園	6.3	4.4	4.4	6.0	8.7
				除医歯系				1.8	
				同規模				1.6	

注1) 評価欄の評価については、一般的に次のとおりといわれています(「今日の私学財政」より)。△:高い方がよい ▼:低い方がよい —:どちらともいえない
 注2) 法人種別欄については次のとおりです。除医歯系:医歯他複数学部および医歯単一学部の大学法人を除く。同規模:学生生徒数5,000~8,000人の大学法人
 注3) 基本金組入額は収入からの控除科目であるため、基本金組入率は支出構成指標としています。
 備考 学校法人会計基準の改正により新たに設けられたもの、名称が変更となったものがあるため、26年度以前に空白箇所があります。

図表5 事業活動収支計算書の年度別財務比率比較(図表4から一部をグラフ化)



III 平成29年度予算について

平成28年9月理事会で承認された予算編成方針に基づき新規事業を査定し、経常費予算等と合わせて平成29年度予算を編成しました。

1 資金収支予算書について(図表6を参照)

収入の部では、学生生徒等納付金収入として80億5440万円を計上しました。平成26年度からの小学校の授業料の値上げ、平成27年度からの幼稚園の保育料の値上げを見込みました。手数料収入は1億5440万円、補助金収入は14億9800万円を計上しました。

支出の部では、人件費支出は60億3100万円を計上し、前年度比で2億9500万円の減額としました。教育研究経費支出は、18億7600万円を計上し、前年度比で1200万円の増額としました。管理経費支出は、6億6300万円を計上し前年度比で28百

万円の減額としました。校舎等の建替え工事が一巡し、施設関係支出は施設等の保全計画に基づく予算を措置し、校地等を取得するための予算を計上した前年度に比べて16億2600万円の減額、設備関係支出はほぼ前年度並みの2億9700万円を計上しています。

2 事業活動収支予算書について(図表7を参照)

教育活動収支差額は7100万円増加の3億1400万円、教育活動外収支差額はほぼ前年度並みの1億4000万円とし、経常収支差額は7000万円増加の4億1800万円となっており経常的な収支バランスは良好となっています。また、特別収支差額は施設等の保全による更新工事のための資産処分差額を見込んで1億1900万円のマイナスとなっています。

これにより、基本金組入前当年度収支差額(旧:帰属収支差額)は、前年度と比較して9700万円増加の1億9900万円となり、基本金組入額合計4億2200万円を差し引いた当年度収支差額(旧:消費収支差額)は2億2300万円の支出超過となり、前年度繰越収支差額(平成28年12月2日補正予算)96億9000万円を加えて翌年度繰越収支差額は99億1300万円の支出超過の予算となっています。収支の均衡を図る上で、平成29年度も引き続き、支出の抑制に努めて、決算時には均衡に近づける努力が必要になります。